

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		産業振興課
	01	01	01	07	01	

政策
商業振興による地域活性化

政策の内容

商業集積ガイドラインに基づき、市内における適正な商業集積を促すとともに、商業者に対するワンストップ支援体制の整備や商店街に対する賑わい創出等の活動支援を通じて、商業を振興し、地域経済の活性化を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
まちの産業	浜松市の企業は元気で活力があると感じますか。	2.98	2.97				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

商業振興による地域経済活性化に向け、商業者育成事業、地域商品販売力向上支援事業、商店街向け助成事業等の取り組みを進めている。
市内小売業の事業所数は減少傾向にあるが、従業者数は平成24年度以降増加傾向にあり、店舗の大型化が進んでいると考えられる。
また、地元の個人商店における前年との支出金額の比較を問うアンケートでは、半数以上が「減った」、「2年間の支出がない」と回答している。
こうしたことから、市内の商店会活動に対する支援等を通じて、商業を振興し、地域経済の活性化を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	314,027				
決算	285,203				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	2.6				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
商業振興支援事業	1 商業者育成事業 若手経営者等を次世代リーダーに育成するセミナーを浜松商工会議所と共催で開催する。 2 地域商品販売力向上支援事業 スーパー等のバイヤーを招いた個別商談会を浜松商工会議所と共催で開催する。	783
		635
商店街施設整備 事業費助成事業	1 商店街施設整備事業費補助金 商店街における街路灯等の施設整備に要する経費の一部を助成する。	3,844
		1,211
商業者支援事業 費助成事業	1 商店街等課題解決事業費補助金 商店会等の課題を解決するための事業に対し、その経費の一部を助成する。 2 軽トラはままつ出世市負担金 浜松市中心市街地の賑わいづくりと6次産業化の促進や農商工連携による地場産業の活性化等を目的として、浜松商工会議所、とぴあ浜松農業協同組合と連携し、軽トラはままつ出世市を開催する。	3,400
		4,635
プレミアム付商品 券発行事業	1 プレミアム付商品券発行事業 物価高騰により低迷する個人消費を喚起し、地域経済の活性化を図るため、プレミアム付デジタル商品券を発行する。	306,000
		278,722

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
商業者育成事業 におけるセミナー 参加者数(人)	ネクストリーダー経営塾 参加者人数 ※2025年度実績値は 2025.4.1～2026.3.31の期 間の値である。	次世代の経営幹部を育成する セミナーの参加者数増加によ り、経営が改善される事業所が 増加し、業況DIの向上に寄与す ると見込む。	目標値	-	40	40	40	40	40
			実績値	38	43				
			達成率	-	108%				
商店街課題解決 事業費補助金を 活用した事業実 施数(件)	商店街課題解決事業費 補助金を活用した事業 実施数 ※2025年度実績値は 2025.4.1～2026.3.31の期 間の値である。	商店街の課題解決事業に取り 組むことで、来街者数が増加 し、売上向上につながることを 見込んでいる。	目標値	-	6	6	6	6	6
			実績値	6	6				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
業況DI(小売業)	中小企業景気動向調査 における小売業の業況 DI(一般財団法人しんき ん経済研究所調査) ※実績値は、1月公表分 (10月～12月期調査)	県西部地域の中小企業の景気 動向を調査したものである。景 況を判断する指標であり、この 指標の向上が、商品販売額の 増加につながることを見込んで いる。	目標値	-	△ 15.4	△ 11.4	△ 7.4	△ 3.4	0.0
			実績値	△ 19.4	△ 20.6				
			達成率	-	△ 30%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
年間商品販売額(百万円)		経済センサスによる、年間 商品販売額(卸小売業)を、 毎年1.3%増加し、2034年度 に3,302,047百万円まで増加 させる。 ※5年に一度、調査を実施	実績値	2,791,731 (2021年)	-					3,302,047
			達成率	84.5%	-					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

都心への民間投資や地域商店の活性化により、都市の魅力が高まっている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
商業振興支援事業	1 商業者育成事業 浜松商工会議所と共催で、やる気のある若手経営者等を次世代リーダーに育成することを目的とした「浜松ネクストリーダー経営塾」を全4回開催した。「顧客が満足、社員が満足し成長する「強い経営」を学ぶ」をテーマに、社風改革を図り、逆境を乗り越えたホテル経営者や顧客満足度No.1を連続達成した自動車販売店の役員を講師に招いたセミナーを開催した。 2 地域商品販売力向上支援事業 浜松商工会議所と共催で、市内に店舗を構えるスーパーマーケット等のバイヤー企業3社と個別商談できる機会を提供した。バイヤー企業による事前選考の結果、1社との間で、2件の直接商談が成立した。	地域商品販売力向上支援事業の個別商談会において、直接商談件数の増加に向けて、新たなバイヤー企業の掘り起こしを図る。
商店街施設整備事業費助成事業	1 商店街施設整備事業費補助金 商店街の安心・安全の確保に向けた防犯カメラの設置費用に対して1件、維持管理費が課題となっていた街路灯の撤去費用に対して3件の助成を行った。	引き続き事業を継続し、商店街施設の適切な維持管理を支援する。
商業者支援事業費助成事業	1 商店街等課題解決事業費補助金 商店街への集客力の衰退を課題と捉え、来客促進及び商店会活動の周知を目的として、商店会が主催した6件イベントに対し、費用の一部を支援した。 2 軽トラはままつ出せ市負担金 浜松商工会議所、とびあ浜松農業協同組合、商業関係団体等で組織する「軽トラはままつ出せ市実行委員会」に参画し、令和7年11月23日に「第12回軽トラはままつ出せ市」を開催した。鍛冶町通りやモール街などを歩行者天国にし、浜松・浜名湖一円の特産品や農作物を販売する90店舗が出店。約4万人が来場し、中心市街地は大きな賑わいを見せた。	毎年実施している商店会の状況や課題、行政への要望を確認するアンケート調査において、補助金活用意向を把握し、事業を継続することで、商店会の振興を図る。
プレミアム付商品券発行事業	1 プレミアム付商品券発行事業 PayPayアプリを活用したプレミアム率20%のデジタル商品券を25万口・総額15億円分を用意し、事業を実施した。商品券利用額は14.1億円となり、市民による市内店舗での個人消費の喚起につながった。	国の臨時交付金により補正予算で新規事業として実施したもの。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
商店街課題解決事業費補助金を活用した事業実施数(件)について、当該補助金は3年間までの支援とし、その後は自走して開催できること目指している。また、市内の商店会数は年々減少傾向にあることから、本事業の件数は減少することが考えられる。当初は年々1件の増加を目標値としていたが、現状の件数を継続することが適切な目標値と判断し、下方修正を行う。	

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

商業振興による地域経済活性化に向け、商店街の来客促進及び賑わい創出を図る商店会主催イベントに対する助成や、若手経営者等を次世代のリーダーに育成することを目的とした「浜松ネクストリーダー塾」の開催等を実施し、商店会活動に対する支援に取り組んだ。また、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、浜松市在住者を対象にプレミアム付デジタル商品券の発行を行い、物価高騰により低迷する個人消費を喚起することで、市内中小小売店・飲食店等を支援し、地域経済の活性化を図った。 ②活動(アウトプット)指標では、目標値を達成する実績となったが、③短期成果(アウトカム)指標の業況DI(小売業)では、物価高騰による仕入価格の上昇が続いていることが要因で、さらに悪化している景況判断となった。2026年度も物価高騰による影響が続き、小規模事業者が多い小売業では、厳しい状況が続くことが予想されるため、計画する事業を着実に実施し、商業振興による地域経済の活性化を図っていく。
